



連

携

室

だより

目次

- P1..... ご挨拶
- P2..... がんサロン
「ハートクロス」の紹介
- P3-4..... がん診療に関する
セカンドオピニオン外来のご案内
- P5..... 認定看護師のご紹介
- P6-7..... 新任医師のご紹介
- p8..... 新任医師のご紹介
退職医師のお知らせ

■理 念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し、質の高い医療を提供します

■基本方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重した病院環境をつくります
2. 急性期医療を中心にして診療を進めます
3. 救急医療の充実に努めます
4. 地域の医療機関等との連携を推進します
5. 国内外の災害時の医療救護活動に貢献します
6. 職員の教育、研修を充実させます
7. 健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

■私たちは患者さまの権利を尊重します

1. 適切な医療を受ける権利
2. 医療に関して知る権利
3. 医療行為を自分で選ぶ権利
4. プライバシーを保証される権利
5. 人権を尊重される権利
6. セカンドオピニオンを受ける権利

「水無月 アゲハ蝶」 当院写真部

ご 挨 拶

この4月に診療報酬改正がありました。消費税が8%になったことを考慮しますと、どの医療施設においても厳しい改正だったと推察しております。超高齢化社会に突入し、医療・介護費用が今後ますます増大することを見越しての改正となっています。我々地域医療を担う医療機関は、今後ますます効率的な医療と機能分化、そして連携が求められてきます。今回、旭川赤十字病院のような急性期病院においても、在宅復帰率という新たな指標が提示されました。在宅とは本当の自宅のみならず、在宅復帰機能を持つ病棟、介護施設も含まれます。市内に在宅復帰機能を持つ医療機関が育つことが、急性期病院にとっても重要なこととなります。この基準は一つの医療機関で動くのではなく、地域の複数の医療機関が協力して在宅復帰を目指して進んで下さいというメッセージです。新たな連携体制を構築することが必要かと考えています。

また、病院の外来の在り方も中医協で議論されています。以前より500床以上の病院外来は専門特化が必要と言われてきました。旭川赤十字病院では紹介患者中心の外来を実践しています。紹介状を持参されない患者さんは、かかりつけの医師に紹介状を書いて頂くよう受付にて説明しております。場合によっては紹介状の作成を各医療機関に依頼をさせて頂いております。これは、診療報酬上必要で在るばかりでなく、高度急性期病院が本来の機能を維持するために必要なことでもあります。ご面倒ですが、地域連携にご理解を頂き、紹介状作成にご協力をお願いいたします。

旭川赤十字病院は今後益々各医療機関との連携を密に行くつもりです。宜しくお願い致します。



院長
牧野 憲一

がんサロン「ハートクロス」の紹介



当院は昨年北海道がん診療連携指定病院の指定を受け、1年が経過いたしました。がん診療連携指定病院の要件には、専門的ながん医療の提供やがん診療連携協力体制の整備、患者さまへの相談支援や情報提供などの役割を担うことが求められており、当院が取り組まなければならない課題として、セカンドオピニオン実施、カンサーボード開催、緩和ケアチーム設置、がん患者サロン設置、がん医療に係る研修会の実施があります。

昨年度発足しましたがん診療委員会ではこれらの体制作りを進め、この度最後の取り組み課題であるがんサロン「ハートクロス」を4月1日、外来棟地下1階にて開設致しました。

サロンはがん患者さまやご家族が自由に語りあえる交流の場として、またがんに関する様々な情報の入手や交換ができる場所です。当院では、訪れる方が暖かな雰囲気の中で心と心が触れ合えるような場にしたい、という思いから「ハートクロス」と命名致しました。

サロンは毎週木曜日10時～12時・14時～16時の4時間開催しており、当院だけではなく他の病院を受診されている方でもご利用可能です。サロンには緩和ケア認定看護師や医療ソーシャルワーカー等のスタッフが在室し、適時情報提供や相談の受け付けを行っています。また、年に数回テーマを決めて患者様に役立つミニレクチャーも開催する予定です。

通院・入院を問わずがん患者さまやご家族の方へ、当サロンをご紹介いただけますよう、よろしくお願い致します。

(文責：緩和ケア推進室 緩和ケア認定看護師 蟹谷 和子)



がん診療に関する セカンドオピニオン外来のご案内

当院は、高度かつ専門的な医療を提供する病院として、がん診療に関するセカンドオピニオン外来を整えました。

セカンドオピニオンとは、患者様やそのご家族が、現在かかっている病院等における医師（主治医）の診断や治療方針について、主治医以外の専門医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことにより、納得のいくより良い治療方針を自己決定できるようにするためのものです。

当院のセカンドオピニオンは、現在他の医療機関で受けておられるがんの診断や治療方針に関してご意見を申し上げることを目的としています。そして必ず元の医療機関にお戻りいただきます。そのため、当院での治療や検査、入院をご希望される場合でも、相談後に元の医療機関にお戻りいただき、改めて、旭川赤十字病院での治療を希望する旨の紹介状（診療情報提供書）を医師に書いていただくことになります。

セカンドオピニオンの内容

がんの診断・治療等に関すること等です。お申し込み時に確認させていただきます。

また、以下の内容についてはセカンドオピニオンの対象外としています。

1. 患者様本人が同意していない場合
2. ご相談者が代理人だけの場合、患者様が未成年者の場合等で、身分、ご本人との続柄を示す書類をお持ちできない場合
3. 現在受診中の医療機関（主治医）に対する不満や苦情。転院希望、医療過誤、医療訴訟、裁判係争中に関する相談
4. 亡くなられた患者様を対象とする相談
5. 治療後の良し悪しの判断を目的とする場合
6. 最初から転院を希望している場合
7. 主治医が了解していない場合
8. 診療費の内容や医療給付などに関する相談
9. 当院から指定された相談に必要な資料（診療情報提供書、検査資料等）を、お持ちできない場合
10. 相談内容が当院の専門外である場合
11. 予約外である場合

※なお、上記以外でも当院での判断によりお断りする場合がございます。

セカンドオピニオン対象者

セカンドオピニオンは、ご本人との面談を原則としますが、来院が不可能な場合はご本人の同意書をいただければ、代理人のみでも可能です。また、個人情報の保護から、患者様との関係を確認させていただきますので、来院の際には、必ず、患者様との関係を証明するもの（戸籍抄本、健康保険証等）をお持ち下さい。

料金・時間・持参資料について

料金と時間

- ・健康保険適用外（自由診療）となります。
- ・一人一事例 10,800円（消費税込み）
- ・一時間程度を目安としています。

準備していただく書類

1. 診療情報提供書

現在の医療機関で、治療や検査の状況等について記入したものを主治医に作成してもらって下さい。

2. レントゲンフィルム等

CT, MRI, レントゲン等を撮られている場合は、主治医からお借り下さい。

3. 検査結果

診療情報提供書に記載があればよいのですが、それ以外に検査結果を示す資料があればご持参下さい。

4. 代理人のみの場合

患者様との関係を証明するもの（戸籍抄本、健康保険証等）

お問い合わせ窓口

旭川赤十字病院 がん相談支援センターに電話でご相談下さい。

電 話 0166-22-8111（内線）3120・3121

受付時間 8:25～17:00 月～金曜日

（土・日曜日、祝日
5月1日、12月29日～1月3日 を除く）

お申込み後、ご自宅に受診（相談）案内を郵送致します。



旭川赤十字病院 認定看護師のご紹介

救急看護認定看護師の活動

当院は、道北圏において救命救急の中核病院として急性期医療を担っております。2009年からは、当院を基地病院としてドクターヘリ事業が開始されました。

2014年5月現在、全国に救急看護認定看護師は823名、道内では23名が登録されています。

救急看護認定看護師の主な役割は、①救急医療現場における病態に応じた迅速な救命技術・トリアージの実施、②危機状況にある患者様やご家族への早期的介入および支援、③災害時における急性期の医療ニーズに対するケアです。

当院には、2名の救急看護認定看護師がおり、救命救急センターとして機能するHCU・救急外来に勤務し、重症度や緊急度の高い患者様とそのご家族に対し、迅速かつ的確な医療・看護の提供に努めております。

また、HCU・救急外来スタッフとともに「救急ケア推進チーム」を立ち上げ、院内急変時対応に関する知識・技術の普及に取り組んでいます。

当院の救急看護認定看護師の活動内容を①～⑥にお示します。

① 救命技術やトリアージに関する教育

看護職員に対し、実技訓練を主体とした一次救命処置・二次救命処置・AED（自動体外式除細動器）・急変時の看護記録方法等について勉強会を行っています。

また、当院は夜間・休日において救急外来を受診される患者様に対し、専任の看護師が「緊急度判定支援システム」により緊急度を判定しているため、救急外来看護師のトリアージ教育にも努めています。

② 救急カートの整備・点検

緊急時に備え、院内で救急カート物品を基準化し、定期的に救急看護認定看護師が整備状況を監査しています。

③ 救急看護マニュアルの改訂

電子カルテ内にある救急看護マニュアルの見直し、改訂を行っています。

④ 院内からの救急看護に関する相談機能

院内職員から、救急カートや急変時対応に関する相談を受けています。

⑤ 急性期医療ニーズに対するケア

災害派遣医療チーム（DMAT：Disaster Medical Assistance Team）に登録し、災害時の緊急出動に備えています。ドクターヘリでは、フライトナースとしてプレホスピタルケアの実践に努めています。

⑥ 院外活動

救急看護認定看護師としての様々な活動をまとめ、日本救急看護学会や北海道救急医学会に報告しています。

以上、救急看護認定看護師の活動をご紹介します。

皆様の施設で、救急カート・急変時対応・心肺蘇生法などのご相談や講師派遣等のご要望がございましたら、お気軽に地域医療連携室までご連絡下さい。

	氏名(資格取得年)	分 野	コンサルテーション可能な項目
	西尾 友子 (2011年取得)	救急看護	・急性期看護について ・急変時対応（心肺蘇生法） ・救急カートについて ・プレホスピタルケアについて
	太田 文子 (2011年取得)		

新任医師のご紹介

(平成26年4月付)

質問項目

- ①診療科
- ②取得指導医・専門医
- ③卒業年度
- ④地域医療機関の先生方へ一言！



アラ イ ヨシナリ
新井 美成



- ①糖尿病・内分泌内科
- ③2009年度
- ④今年で医師免許取得6年目となります。
まだまだ修行中の身で、多々ご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

スドウ コウタ
須藤 悠太



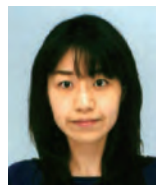
- ①呼吸器内科
- ②内科認定医
- ③2008年度
- ④1年ぶりに戻ってきました。
また、よろしくお願いします。

サワ タ コウジ
澤田 康司



- ①消化器内科
- ②日本内科学会認定医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医
- ③2002年度
- ④肝臓病中心に消化器疾患の診療をさせて頂いています。よろしくお願いいたします。

イナ バ チヒロ
稲葉 千尋



- ①消化器内科
- ③2007年度

イシ イ タカヒロ
石井 貴大



- ①消化器内科
- ③2011年度
- ④4年目、まだまだ未熟で勉強中ですが、よろしくお願い申し上げます。

オヌマ アツタ
小沼 新



- ①消化器内科
- ③2011年度

ノト タカヒロ
能登 貴弘



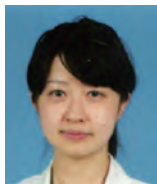
- ①循環器内科
- ③2010年度
- ④宜しくお願い致します。

タテコシ ユウキ
館越 勇輝



- ①腎臓内科
- ③2010年度
- ④腎臓内科の館越です。医師四年目になります。
元々、小児科医志望でしたが、色々あり現在の科に落ちつきました。お世話になることも多いかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

タテコシ アユミ
館越 鮎美



- ①血液・腫瘍内科
- ③2010年度
- ④2011年3月に札幌医科大学を卒業しました館越鮎美と申します。
初期研修1年目は札幌医科大学で、2年目は帯広厚生病院でした。
3年目に札幌医科大学腫瘍・血液内科に入局致しました。今年から旭川赤十字病院に勤務させて頂き、外来・病棟と主に血液疾患について日々学ばせて頂いております。諸先生方に親切に指導して頂き、充実した毎日です。未熟者ではございますが、御指導・御鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ヨコヤマ ケイスケ
横山 啓介



- ①外科
- ③2011年度

サトウ ゴウ
佐藤 剛



- ①整形外科
- ③2007年度

ムラタ ショウヘイ
村田 宗平



- ①整形外科
- ③2009年度

ミヤモトシン タロウ
宮本慎太郎



- ①泌尿器科
- ②泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医、がん治療認定医、泌尿器科腹腔鏡技術認定医
- ③2002年度
- ④お世話になります。いつまでいるかわかりませんが宜しくお願い致します。

ササキユメミ
佐々木夢美



- ①麻酔科
- ③2010年度

イケシマ
池島まりこ



- ①麻酔科
- ③2010年度

オオトモ ゲン
大友 元



- ①救急科
- ②日本内科学会認定医
- ③2004年度
- ④皆様のお役に立てる様に頑張りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

マツモト サヤカ
松本紗弥佳



- ①歯科口腔外科
- ③2010年度
- ④歯科医師 4 年目です。環境が変わり不慣れなことも多いですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

タカタ ヨウコ
高田 陽子



- ①放射線科
- ②放射線診断専門医、核医学専門医、PET核医学認定医、検診マンモグラフィー認定医
- ③2004年度

フキタ マサヒロ
脇田 雅大



- ①臨床研修医
- ③2012年度
- ④北海道大学病院の協力型で旭川赤十字病院に参りました、臨床研修医 2 年目の脇田雅大と申します。旭川出身です。何卒よろしくお願い申し上げます。

アベ ユミ
阿部 恵



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

アマノ タイシ
天野 太史



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

イシツカ トモアキ
石塚 智明



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④札幌医科大学から来ました。少しでもお役に立てるように頑張ります。よろしくお願い致します。

ツチダ タクミ
土田 拓見



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④皆様のお力になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

ナカツカ ヒロコ
中塚 皓子



- ①臨床研修医
- ③2013年度

マエダ マキシ
前田真岐志



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

イシジマ カズタカ
飯島 一飛



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④こんにちは、2014年4月より旭川赤十字病院で研修医1年目（札幌医大協力型）をしております飯島一飛です。茨城県出身です。地域医療機関の先生方におかれましては紹介状の交換等に関わる機会があるのかと思います。まだまだ業務に慣れないものでご迷惑をおかけするかもしれませんが、温かい目で見守って下さるようお願い致します。

キクチ ヤスヒロ
菊池 泰弘



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④札幌医科大学から1年間、研修させて頂いております研修医1年目の菊池泰弘と申します。感謝の気持ちを忘れず、1つでも多くのことを吸収し、成長できるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

サトウ イクマ
佐藤 行真



- ①臨床研修医
- ③2013年度

スガイ タツロウ
須貝 達朗



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④琉球大学を卒業し、沖縄から北海道にやってきました。不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

タカハシ ナナ
高橋 奈七



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④初めまして、臨床研修医の高橋奈七です。出身地は釧路市で、出身大学は旭川医科大学です。協力型で一年間お世話になりますので、よろしくお願いいたします。

ツハ コメグミ
津波古愛恵



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④1年間、歯科口腔外科で研修医として勤めさせていただきました津波古愛恵と申します。長崎大学卒業、出身は沖縄県です。この1年間で多くのことを学び吸収していきたいです。よろしくお願いいたします。

退職医師のお知らせ

氏 名	診療科	
和田 篤志	腎臓内科（診療部長）	平成26年3月31日付
竹田 安孝	糖尿病・内分泌内科	平成26年3月31日付
吉川 匠	呼吸器内科	平成26年3月31日付
富永 素矢	消化器内科	平成26年3月31日付
大和田 渉	循環器内科	平成26年3月31日付
上村 志臣	外 科	平成26年3月31日付
廣野 由佳	整形外科	平成26年3月31日付
大坪 誠	整形外科	平成26年3月31日付
上原 央久	泌尿器科	平成26年3月31日付
濱田 耕介	麻 酔 科	平成26年3月31日付
加藤 真	麻 酔 科	平成26年3月31日付
藤井 ふみ	歯科口腔外科	平成26年3月31日付
石戸谷俊太	放 射 線 科	平成26年3月31日付

発行／旭川赤十字病院
地域医療連携室

〒070-8530
旭川市曙1条1丁目1番1号
TEL:0166-22-8111（代表）
TEL:0166-27-8585（地域医療連携室直通）
FAX:0166-22-8287
E-mail:renkei@asahikawa.jrc.or.jp